

OFSC ドライバー for .NET インストールマニュアル

概要

製品の特徴および仕様について説明します。

環境の構築 – .NET

製品を導入する前に必要な環境構築について説明します。

OFSC ドライバー for .NET の インストール

OFSC ドライバーをインストールする手順について説明します。

アンインストール

OFSC ドライバーをアンインストールする手順について説明します。

サイレント インストール

サイレントインストールについて説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON®、ESC/POS® はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Visual Basic®、Visual C++®、は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

© セイコーエプソン株式会社 2009-2012

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、OFSC ドライバーを使用するための環境構築および、OFSC ドライバーのインストールに必要な情報を提供することを、目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

- 第 1 章 [概要](#)
- 第 2 章 [環境の構築 - .NET](#)
- 第 3 章 [OFSC ドライバー for .NET のインストール](#)
- 第 4 章 [アンインストール](#)
- 第 5 章 [サイレント インストール](#)

もくじ

■ 安全のために.....	3
記号の意味.....	3
■ 使用制限	3
■ 本書について.....	3
本書の目的	3
本書の構成	3
■ もくじ	4

概要.....5

■ 特徴	5
パッケージ構成	5
マニュアル構成	6
サンプルプログラム	6
■ サポート デバイス.....	6
■ 動作環境	7
オペレーションシステム.....	7
外部モジュール	7
■ OFSC ドライバーを使うために	8
■ 他のドライバー / ユーティリティとの共存	8
■ IIS のコネクションについて	9
■ 制限事項	10

環境の構築 - .NET 11

■ 構築手順	11
■ .NET Framework 2.0 SP1	12
ダウンロード	12
インストール.....	12
■ IIS(Microsoft Internet Information Services)..	13
インストール.....	13
IIS と .NET Framework の関連付けの適正化.....	16
■ POS for .NET 1.11	17
ダウンロード	17
インストール.....	17

OFSC ドライバー for .NET のインストール.....19

■ インストールの流れ	19
■ 動作環境の確認	20
■ OFSC ドライバーのインストール.....	21
インストール.....	21
■ WebService の動作確認	23
■ デバイスの登録	24
■ デバイスの動作確認	26
■ 登録デバイスと WebService のペアリング設定.....	27
XMLPOSBridge WebService の編集	27
OFSCStack WebService の編集	28

アンインストール.....31

■ OFSC ドライバーのアンインストール.....	31
■ UPOS ドライバーのアンインストール.....	32

サイレント インストール.....33

■ サイレント インストールとは?.....	33
サイレント インストールの流れ.....	34
■ コピー元コンピューターの作業.....	35
インストールログファイル(Setup.log) の作成.....	35
コピーファイルの用意.....	36
■ コピー先コンピューターの作業.....	37
サイレント インストールの実行.....	37
設定ファイルのコピー	40

概要

本章では、製品の特徴および動作環境、製品を使用する前に必要な設定作業について説明しています。

特徴

OFSC ドライバーは、OFSC 機器標準接続規格に従って EPSON のデバイスを制御するためのドライバーです。本製品は、POS システムや Order Entry システムの中で使用することを推奨しています。

OFSC 機器標準接続規格については、下記 URL を参照してください。

<http://www.ofsc.jp/>

パッケージ構成

OFSC ドライバーは、以下のパッケージで構成されています。

OFSC ドライバー インストーラー (EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe)

OFSC ドライバーをインストールするパッケージです。以下が含まれており、インストーラーで自動解凍されます。

- OFSC ドライバー
- UPOS ドライバー

OFSC ドライバー マニュアル (EPSON_OFSC_Driver_NET_Manual_Vx.xx.zip)

OFSC ドライバーのマニュアルのパッケージです。マニュアルは PDF ファイル形式です。

以下が含まれています。

- OFSC ドライバー for .NET インストールマニュアル
- OFSC ドライバー ユーザーズマニュアル
- OFSC ドライバー サンプルスタイルシート リファレンスマニュアル

OFSC ドライバー サンプルプログラム

(EPSON_OFSC_Driver_NET_Sample_Vx.xx.zip)

OFSC ドライバーを使ったサンプルプログラムのパッケージです。以下が含まれています。

- サンプルアプリケーション
- サンプルスタイルシート

マニュアル構成

OFSC ドライバー インストールマニュアル

インストールマニュアルには、Windows Java 用 / Windows .NET 用 / Linux Java 用があります。
本書は Windows .NET 用です。

本書では、OFSC ドライバーを使用する前に必要な環境構築の手順から、OFSC ドライバーのインストール / アンインストール方法、OFSC ドライバーを自動的にインストールするサイレントインストール機能の使い方を説明しています。

OFSC ドライバー ユーザーズマニュアル

OFSC ドライバーを使用する方法や、サンプルプログラムの環境構築および、使用方法を説明しています。

OFSC ドライバー サンプルスタイルシート リファレンスマニュアル

サンプルスタイルシートを使って、印刷レイアウトを編集する方法を説明しています。

サンプルプログラム

アプリケーション

アプリケーション開発者向けにサンプルアプリケーションを用意しています。

スタイルシート

テーブル伝票、配膳伝票、オーダー伝票、レシートなどの各種サンプルスタイルシートを用意しています。

サポート デバイス

OFSC ドライバーは以下のデバイスをサポートしています。

デバイス	インターフェイス	用途
TM-T90KP	Ethernet	伝票印刷（キッチン、フロアー）
TM-T88V	シリアル	レシート 印刷
TM-T70	パラレル	
	USB	
	Ethernet	
キャッシュドロアー	DK コネクター *	会計（レシート 印刷時）

*TM-T88V/TM-T70 に接続して使用します。

動作環境

オペレーティングシステム

OFSC ドライバーサポート OS は以下のとおりです。

- Microsoft Windows 7 SP1 (32 bit)
- Microsoft Windows Vista SP2 (32 bit)
- Microsoft Windows XP SP3 (32 bit)
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 bit)
- Microsoft Windows Embedded POSReady 7 (32bit)
- Microsoft Windows Embedded POSReady 2009

マシンスペック は、OS や Web サーバーの推奨スペックに従って使用してください。

なお、本ドライバーをインストールするためには、ハードディスクの空き容量が 50 MB が必要です。

外部モジュール

- Microsoft Windows 7 SP1
 - .NET Framework 3.5 以上
 - IIS (Microsoft Internet Information Services)
 - POS for .NET v1.11
- Microsoft Windows Vista SP2
 - .NET Framework 3.0 以上
 - IIS (Microsoft Internet Information Services)
 - POS for .NET v1.11
- Microsoft Windows XP SP3
 - .NET Framework 2.0 SP1 以上
 - IIS (Microsoft Internet Information Services)
 - POS for .NET v1.11
- Microsoft Windows Server 2008 SP2
 - .NET Framework 2.0 SP1 以上
 - IIS (Microsoft Internet Information Services)
 - POS for .NET v1.11
- Microsoft Windows Embedded POSReady 7 (32bit)
 - .NET Framework 3.5 以上
 - IIS (Microsoft Internet Information Services)
 - POS for .NET v1.12
- Microsoft Windows Embedded POSReady 2009
 - .NET Framework 3.5 以上
 - IIS (Microsoft Internet Information Services)
 - POS for .NET v1.12

OFSC ドライバーを使うために

本製品をインストールする前に、環境を構築していただく必要があります。
詳細は、[11 ページ「環境の構築 - .NET」](#)を参照してください。

1. 環境の構築

環境の構築は、お客様にて必要なソフトウェアの入手と環境を構築していただくものです。
以下のアプリケーションをインストールします。

- .NET Framework 2.0 SP1
- IIS (Microsoft Internet Information Services)
- POS for .NET 1.11



2. OFSC ドライバーのインストール

環境の構築後 OFSC ドライバーをインストールし、必要な設定をします。
([19 ページ「OFSC ドライバー for .NET のインストール」](#)を参照)

- OFSC ドライバーのインストール
- デバイスの登録
- デバイスの動作確認
- 登録デバイスと Webservice のペアリング設定

他のドライバー / ユーティリティとの共存

OFSC ドライバーと共存できるドライバー / ユーティリティは以下のとおりです。

ドライバー / ユーティリティ	共存の有無
APD	共存できません。
OPOS	共存できます。
TMFLogo	

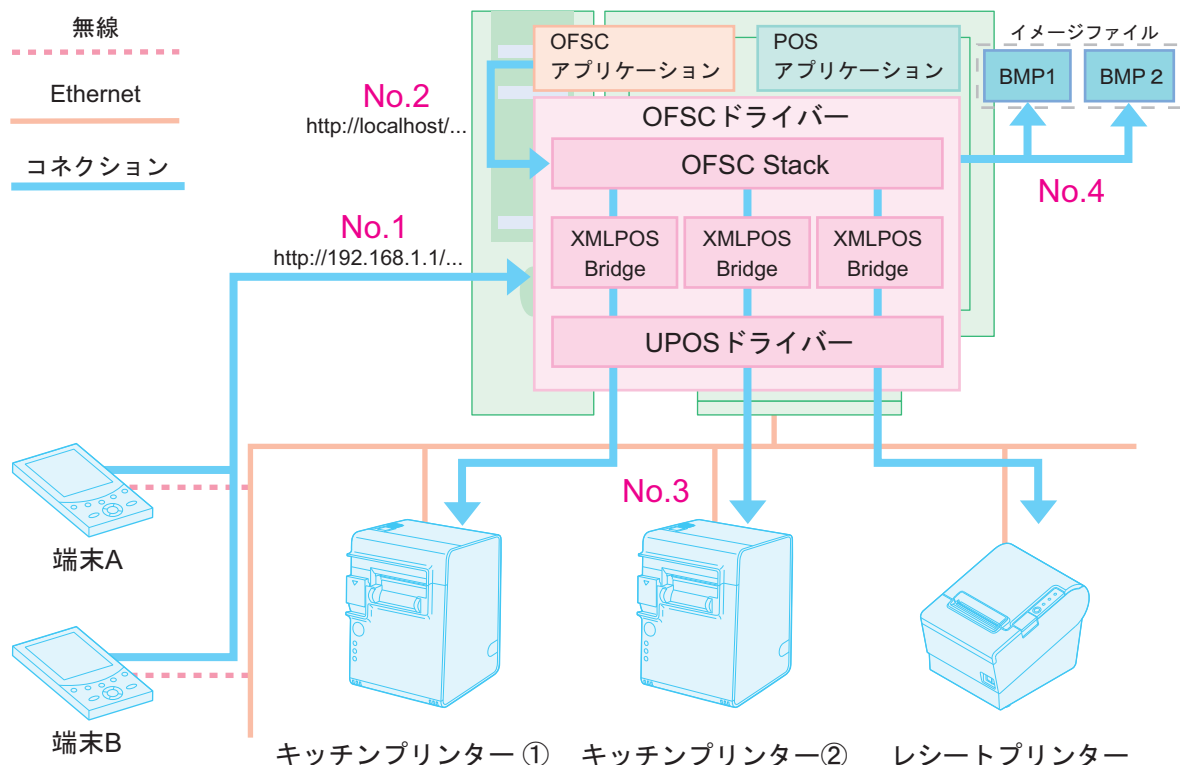
IIISのコネクションについて

OFSC ドライバーでデバイス制御を行う場合の、コネクション保有条件は以下のとおりです。

(OFSC ドライバーの概要は、ユーザズマニュアル1章「概要」を参照してください。)

- OFSC Stack にアクセスする URL 毎に 1 つのコネクションを確立します。
例：http://XXX/OFSCStack/OFSCDeviceWebService.asmx,
XXX の IP 毎に 1 つのコネクションを確立する
- OFSC Stack からデバイス制御を行う XMLPOS Bridge の数だけコネクションを確立します。
- イメージを印字する場合、1 つのコネクションを確立します。

コネクション例(コネクション数 6)



No.1：端末からアクセス

端末は複数あっても、アクセスされる URL が同じであるため、1 つのコネクションが確立されます。

例：http://192.168.1.1/OFSCStack/OFSCDeviceWebService.asmx

No.2：OFSC アプリケーションからアクセス

No.1 とは URL が異なるため、別のコネクションが確立されます。

例：http://localhost/OFSCStack/OFSCDeviceWebService.asmx

No.3：デバイスへアクセス

デバイスごとにコネクションが確立されます。この例では、キッチンプリンター①、キッチンプリンター②、レシートプリンターで 3 つのコネクションが確立されます。

No.4：イメージファイルへアクセス

複数のイメージファイルを印刷する場合でも、1 つのコネクションを確立。

例えば、キッチンプリンター①が BMP1、キッチンプリンター②が BMP2 を印刷する場合でも、1 つのコネクションが確立されます。印刷するイメージファイルや出力するデバイスの数には依存しません。

制限事項

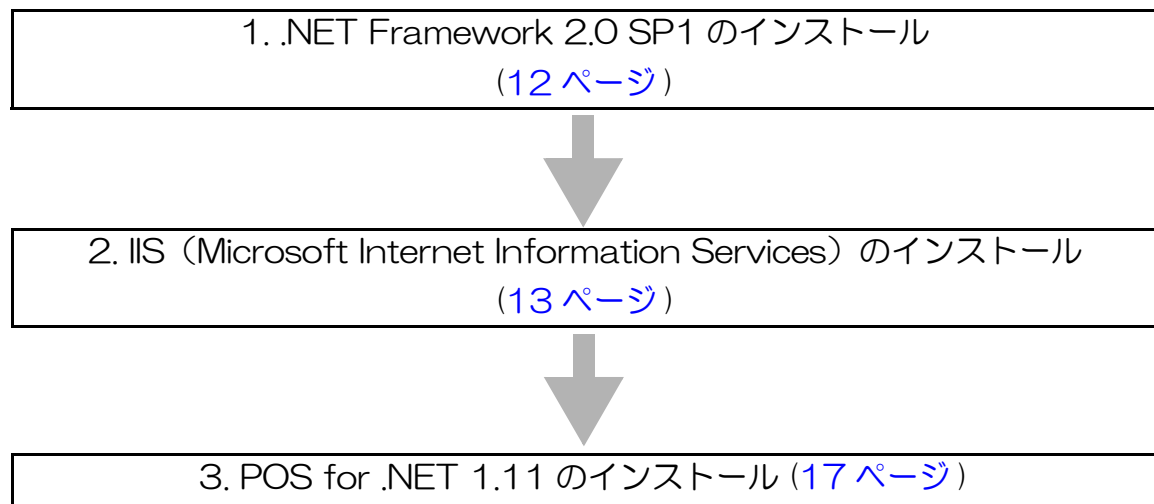
- Windows 7/ Vista/ XP/Embedded POSReady 7/ Embedded POSReady 2009 の場合、OFSC ドライバーに同時に 10 以上のメッセージを送信しないでください。IIS の機能制限により、10 以上のコネクションが確立できないようになっています。
そのため、OFSC ドライバーをインストールするコンピューターに、Windows Server 2008 をお勧めします。
- OFSC ドライバーは Windows Java 用、Linux Java 用、および Windows .NET 用がありますが、1 つの OS に対して、1 つの OFSC ドライバーだけをインストールしてください。
- OFSC ドライバーをインストール / アンインストールする場合、すべてのアプリケーションを終了させてからインストール / アンインストールを行ってください。
- デバイスを接続する場合、スイッチングハブを使用してください。
スイッチングハブを使用しない場合、トラフィックの状況によってデバイスが ONLINE 状態でも OFFLINE と判断される可能性が高くなります。
- 新しいバージョンの OFSC ドライバーのインストール時に、旧バージョンの OFSC ドライバーがインストールされている場合、旧バージョンの OFSC ドライバーをアンインストールしてからインストールを開始してください。

環境の構築 - .NET

本章では、OFSC ドライバーをインストールする前に必要な環境構築について説明しています。

構築手順

以下の手順に従って環境構築を行ってください。



.NET Framework 2.0 SP1

Windows XP の場合 .NET Framework 2.0 SP1 以上をインストールする必要があります。
その他の OS は、.NET Framework はインストールされています。
以下の方法で .NET Framework 2.0 SP1 をインストールします。

ダウンロード

以下から NetFx20SP1_x86.exe をダウンロードしてください。

URL: <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=79BC3B77-E02C-4AD3-AACF-A7633F706BA5&displaylang=ja>

インストール

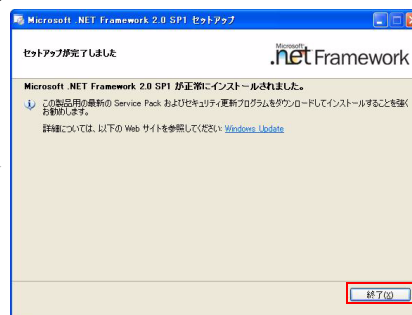
.NET Framework 2.0 SP1 をインストールします。

- 1 NetFx20SP1_x86.exe のアイコンをダブルクリックします。
- 2 「セットアップへようこそ」画面が表示されます。マイクロソフト ソフトウェア追加使用許諾契約書の内容を確認し、[同意する] を選択します。同意後、[インストール] ボタンをクリックします。
.NET Framework 2.0 SP1 がインストールされます。
- 3 「セットアップが完了しました」画面が表示されます。[終了] ボタンをクリックします。
- 4 [インストールを完了するには、コンピュータを再起動してください。] とメッセージが表示されます。[今すぐ再起動] ボタンをクリックします。
コンピュータが再起動されます。

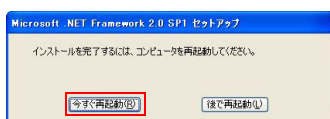
2 >



3 >



4 >



以上で、.NET Framework 2.0 SP1 のインストールは終了です

IIS (Microsoft Internet Information Services)

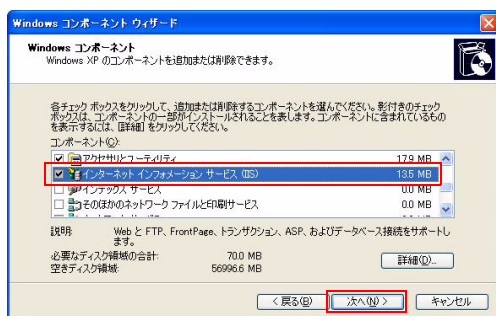
以下の方法で IIS (Microsoft Internet Information Services) をインストールします。

インストール

Windows XP/Embedded POSReady 2009 の場合

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] - [Windows コンポーネントの追加と削除] を選択します。
- 2 「Windows コンポーネントウィザード」画面が表示されます。「インターネットインフォメーションサービス (IIS)」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。
画面の指示に従い、IIS をインストールしてください。
- 3 「Windows コンポーネントウィザードの完了」画面が表示されます。
[完了] ボタンをクリックします。

2 >



3 >

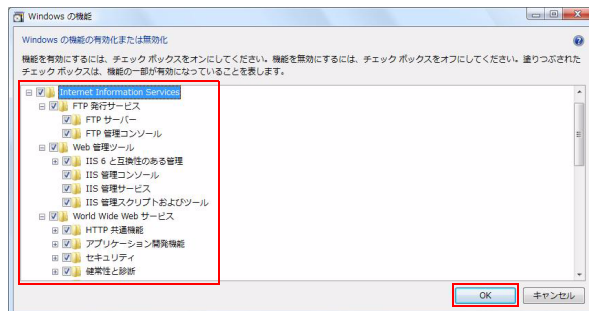


以上で、Windows XP/Embedded POSReady 2009 の IIS (Microsoft Internet Information Services) のインストールは終了です。

2

Windows Vista の場合

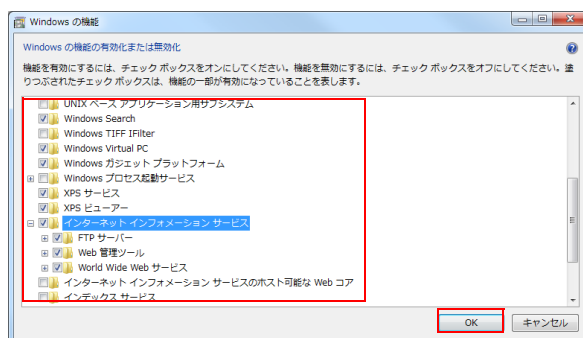
- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プログラム] - [Windowsの機能の有効化または無効化] を選択します。
- 2 「Windows の機能」画面が表示されます。「Internet Information Services」をチェックし有効にします。[OK] ボタンをクリックします。
IIS がインストールされます。



以上で、Windows Vista の IIS（Microsoft Internet Information Services）のインストールは終了です。

Windows 7/ Embedded POSReady 7 の場合

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プログラム] - [Windowsの機能の有効化または無効化] を選択します。
- 2 「Windows の機能」画面が表示されます。「インターネットインフォメーションサービス」をチェックし有効にします。[OK] ボタンをクリックします。
IIS がインストールされます。



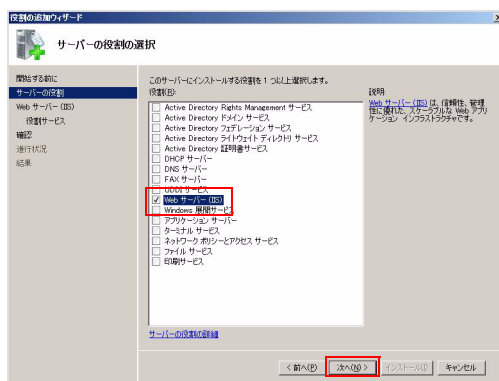
以上で、Windows 7/ Embedded POSReady 7 の IIS（Microsoft Internet Information Services）のインストールは終了です。

Windows Server 2008 の場合

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プログラムと機能] - [Windowsの機能の有効化または無効化] を選択します。
- 2 「サーバーマネージャー」画面が表示されます。[役割] を選択し、[役割の追加] をクリックします。
- 3 「サーバーの役割の選択」画面が表示されます。「Web サーバー (IIS)」をチェックします。[次へ] ボタンをクリックします。画面の指示に従い、IIS をインストールしてください。

参考

「サーバーの役割の選択」画面の前に、「開始する前に」画面が表示される場合があります。「開始する前に」画面が表示された場合、[次へ] ボタンをクリックします。



以上で、Windows Server 2008 の IIS (Microsoft Internet Information Services) のインストールは終了です。

IIS と .NET Framework の関連付けの適正化

- 1 以下のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。
ASP.NET(2.0.50727) をアンインストールします。

入力例 : C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\aspnet_regiis.exe -u

- 2 以下のメッセージが表示されます。

ASP.NET(2.0.50727) のアンインストールを開始します。
.....
ASP.NET(2.0.50727) のアンインストールが完了しました。

- 3 以下のコマンドを実行します。
ASP.NET(2.0.50727) をインストールします。

入力例 : C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\aspnet_regiis.exe -i

- 4 以下のメッセージが表示されます。

ASP.NET(2.0.50727) のインストールを開始します。
.....
ASP.NET(2.0.50727) のインストールが完了しました。

以上で、IIS と .NET Framework の関連付けの適正化は終了です。

POS for .NET 1.11

以下の方法で POS_for_.NET_1.11.exe をインストールします。

ダウンロード

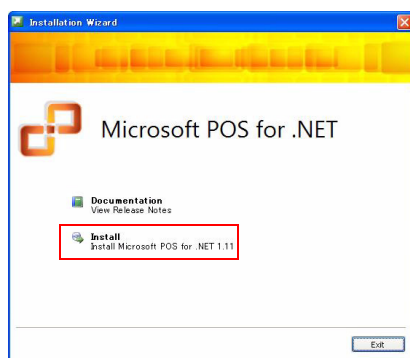
以下から POS_for_.NET_1.11.exe をダウンロードしてください。

URL: <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=8F06B072-06C1-4A4A-A128-83B8A651A25A&displaylang=en>

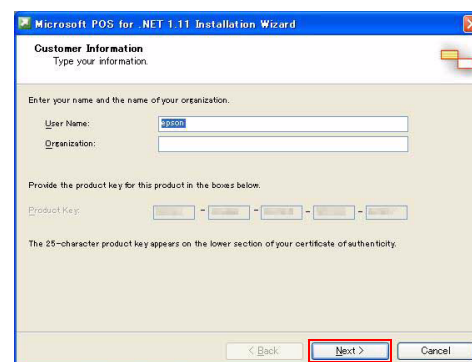
インストール

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] から、.NET Framework がインストールされているか確認します。
 - Windows XP の場合：.NET Framework 2.0 SP1 以上のインストール
 - Windows Vista の場合：.NET Framework 3.0 以上のインストール
- 2 POS_for_.NET_1.11.exe のアイコンをダブルクリックします。
- 3 「Microsoft POS for .NET」画面が表示されます。[Install] を選択します。
- 4 「Customer Information」画面が表示されます。必要な情報を入力し、[Next] ボタンをクリックします。

3 >



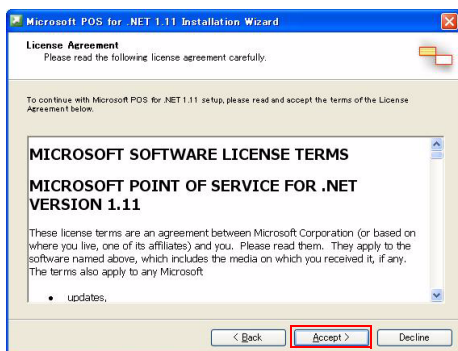
4 >



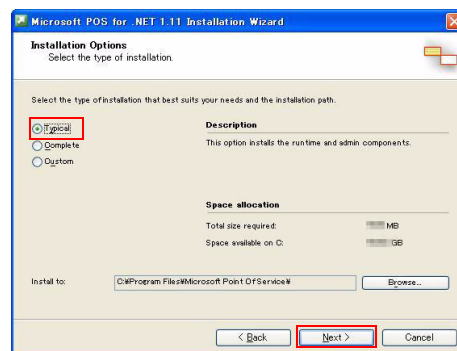
2

- 5 「License Agreement」画面が表示されます。
内容を確認して [Accept] ボタンをクリックします。
- 6 「Installation Options」画面が表示されます。[Typical] を選択して [Next] ボタンをクリックします。
- 7 「Summary」画面が表示されます。インストール内容を確認して [Install] ボタンをクリックします。POS for .NET 1.11 がインストールされます。
- 8 「Installation Completed」画面が表示されます。[Finish] ボタンをクリックします。

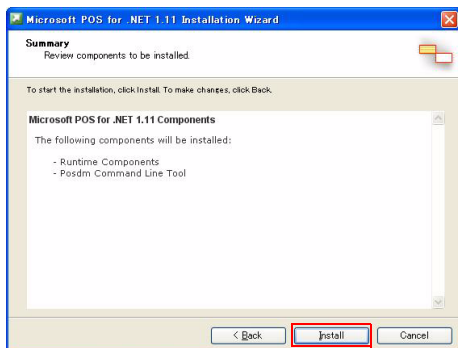
5 >



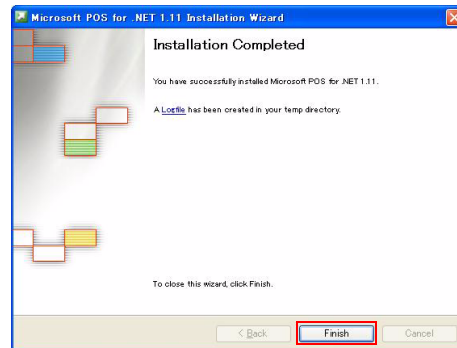
6 >



7 >



8 >



以上で、POS_for_.NET_1.11.exe のインストールは終了です

OFSC ドライバー for .NET のインストール

本章では、OFSC ドライバーをインストールするための必要な手順や設定について説明しています。

注意

新しいバージョンの OFSC ドライバーのインストール時に、旧バージョンの OFSC ドライバーがインストールされている場合、旧バージョンの OFSC ドライバーをアンインストールしてからインストールを開始してください。

インストールの流れ

OFSC ドライバーのインストール時に行う作業は以下のとおりです。
この手順は、標準的な環境構築の例です。EPSON が提供しているサンプルプログラムを動作させる場合は、「OFSC ドライバーユーザズマニュアル」を参照してください。

1. 動作環境の確認 (20 ページ)

2 章の環境の構築や設定がされていることの確認をしてください。
動作環境が正しく構築されていない場合、OFSC ドライバーはインストールされません。

2. OFSC ドライバーのインストール (21 ページ)

3. WebService の動作確認 (23 ページ)

4. デバイスの登録 (24 ページ)

使用するデバイスを Setup POS に登録します。

5. デバイスの動作確認 (26 ページ)

デバイスが正常に接続されているか確認します。

5. 登録デバイスと WebService のペアリング設定 (27 ページ)

SetupPOS の設定にあわせて、XMLPOSBridge WebService と OFSCStack WebService を編集します。

動作環境の確認

OFSC ドライバーをインストールする前に以下の確認をしてください。

環境構築されていない場合、OFSC ドライバーはインストールできません。(11 ページ「環境の構築 - .NET」を参照)

- .NET Framework 2.0 SP1 のインストール
- IIS (Microsoft Internet Information Services) のインストール
- POS for .NET v1.11 のインストール

OFSC ドライバーのインストール

インストール

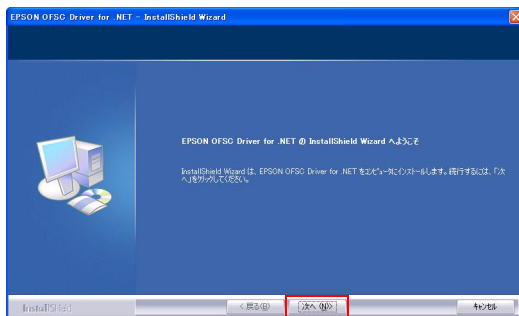
以下の手順で OFSC ドライバーをインストールします。OFSC ドライバーをインストールすると、UPOS ドライバーもインストールされます。

注意

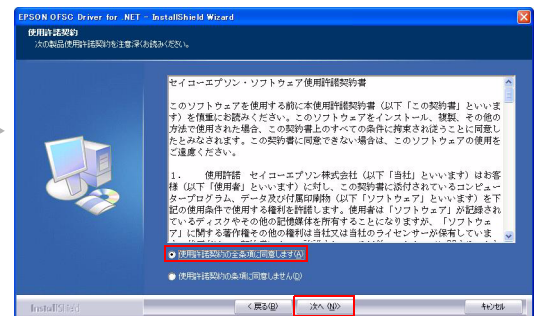
OFSC ドライバーのインストールは必ず、Administrator 権限を持つユーザーが行ってください。

- 1 EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe のアイコンをダブルクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[続行] ボタンをクリックしてください。
- 2 「InstallShield Wizard」画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。
環境が構築されていない場合、インストールするために足りないものを表示し、[キャンセル] ボタンのみ押すことができます。
- 3 「使用許諾契約」画面が表示されます。
内容を確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

2 >

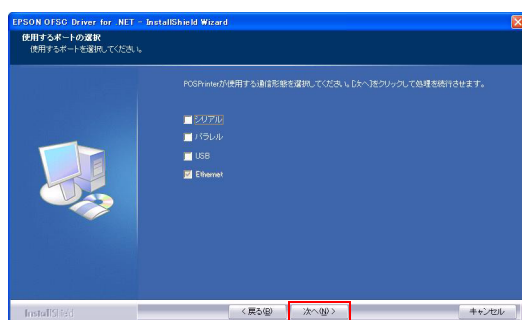


3 >

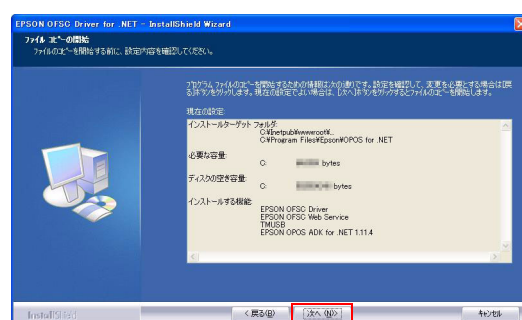


- 4 「使用するポートの選択」画面が表示されます。ポートの種類を選択します。
[次へ] ボタンをクリックします。
“Ethernet” は固定で選択されています。
- 5 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。
設定内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
- 6 OFSC ドライバーおよび UPOS ドライバーがインストールされます。
- 7 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックすると、インストールが終了します。

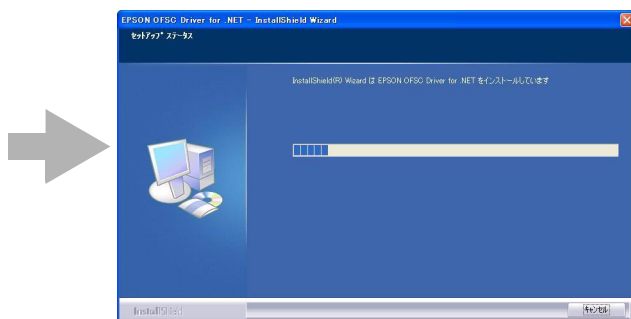
4 >



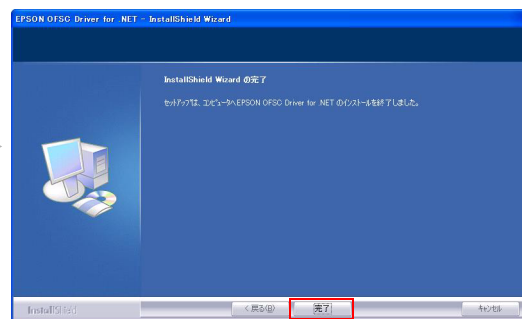
5 >



6 >



7 >



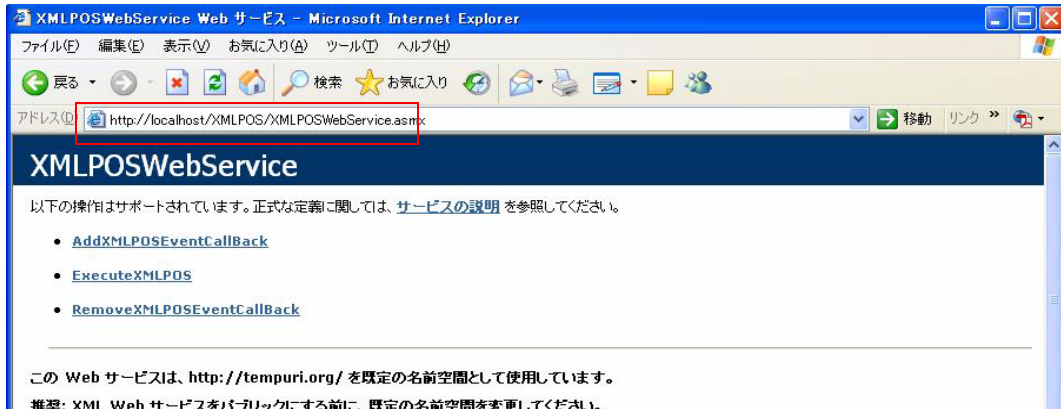
以上で、OFSC ドライバーおよび UPOS ドライバーのインストールは完了です。

WebService の動作確認

以下の URL を入力し、WebService が稼動していることを確認します。

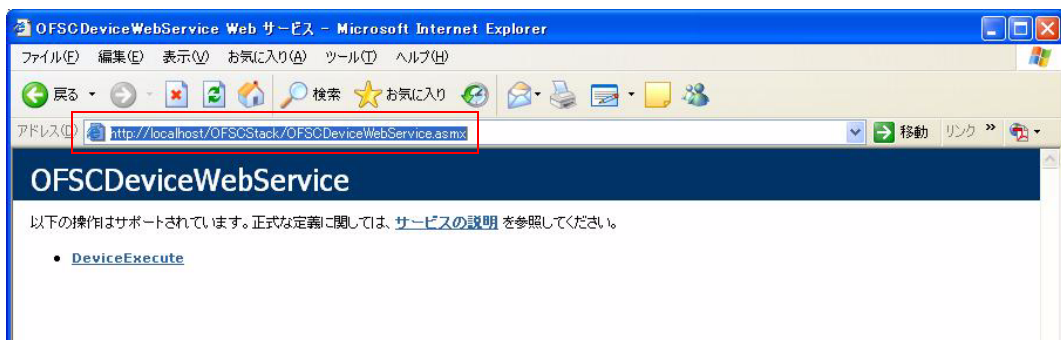
■ XMLPOSWebService の確認

URL: <http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService.asmx>



■ OFSCDeviceWebService の確認

URL: <http://localhost/OFSCTack/OFSCTackDeviceWebService.asmx>



デバイスの登録

OFSC ドライバーで制御するデバイスを登録します。

プリンターは 17 台まで登録できます。それ以上制御したい場合は、弊社までお問い合わせください。

EPSON が提供しているサンプルプログラムの環境を構築する場合、あらかじめ定められた設定をする必要があります。設定値については、「OFSC ドライバーユーザーズマニュアル」を参照してください。

注意

SetupPOS を実行する場合、必ず管理者権限で実行してください。管理者権限でないユーザーで登録した登録デバイスは認識されません。

1

[SetupPOS] を起動します。

[スタート]メニューから[すべてのプログラム] - [EPSON OPOS for .NET] - [SetupPOS] を選択します。

注意

Windows 7/ Windows Vista/ Windows Server 2008/ Windows Embedded POSReady 7 の場合
[スタート]メニューから[すべてのプログラム] - [EPSON OPOS for .NET] - [SetupPOS] を選択し、右クリックします。[管理者として実行]を選択して、[SetupPOS] を起動します。
管理者権限を持つユーザーでも「管理者として実行」を行う必要があります。

2

「SetupPOS for OPOS.NET」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。

3

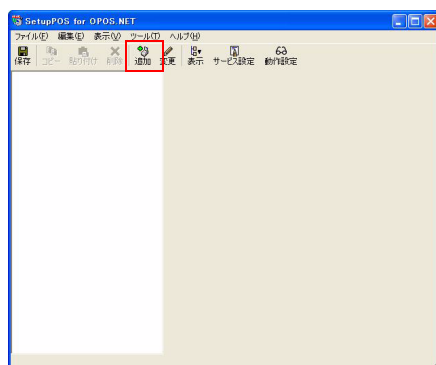
「設定」画面が表示されます。“論理デバイス名”、“デバイスカテゴリ”、“デバイス名”を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

論理デバイス名は、お客様のシステムで判別できる任意の名称にしてください。

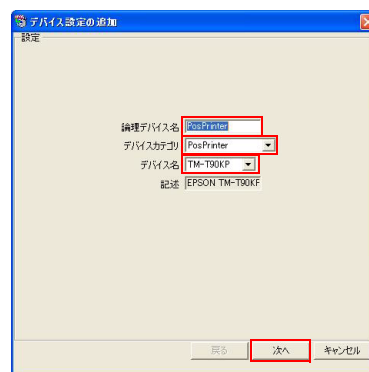
参考

- 複数のデバイスを登録する場合、“論理デバイス名”を重複させないでください。
- ここで登録する“論理デバイス名”を、後ほど27ページ「登録デバイスとWebServiceのペアリング設定」にも登録するので、記録することをお勧めします。

2 >



3 >



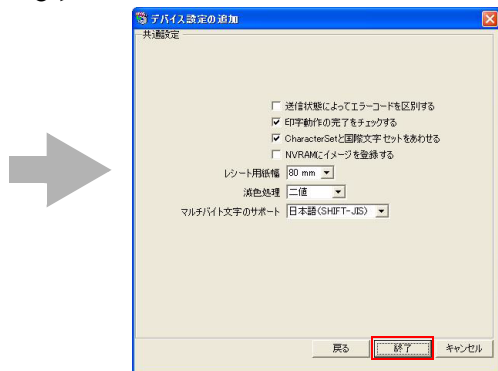
- 4 「接続形式」画面が表示されます。“ポートの種類”を選択します。
選択したポートの“専用設定”を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。



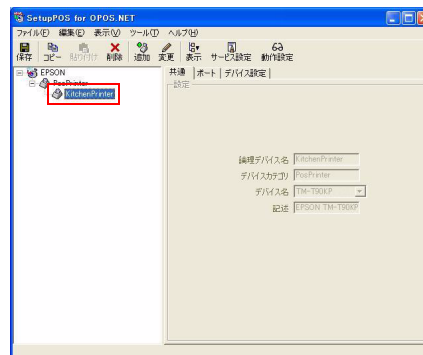
- 5 「共通設定」画面が表示されます。“レシート用紙幅”、“減色処理”、“マルチバイト文字のサポート”を選択し、[終了]ボタンをクリックします。

- 6 「SetupPOS for OPOS.NET」画面にデバイスが登録されます。

5 >



6 >



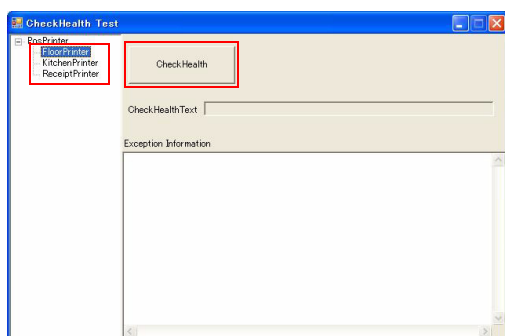
- 7 [保存]ボタンをクリックし、設定を保存します。

以上で、デバイスの登録は完了です。

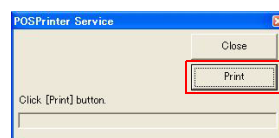
デバイスの動作確認

CheckHealth を使用して、デバイスが正しく登録 / 接続されているか確認します。

- 1 プリンターがシステムに接続、電源オン、用紙が入っていることを確認します。
 - 2 [CheckHealth テスト] を起動します。
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [EPSON OPOS for .NET] - [CheckHealth テスト] を選択します。
 - 3 「CheckHealth Test」画面が表示されます。
プリンターを選択し、[CheckHealth] ボタンをクリックします。
 - 4 「POSPrinter Service」画面が表示されます。[Print] ボタンをクリックします。
- 3 >



4 >



- 5 選択したプリンターから印刷できれば、正しく接続されています。
印刷できない場合、プリンターにエラーが発生していないことを確認し、SetupPOS でデバイスの設定を確認してください。

以上でデバイスの動作確認は完了です。

登録デバイスと WebService のペアリング設定

SetupPOS で登録したデバイスの設定に合わせて、XMLPOSBridge WebService と OFSCStack WebService を編集します。

注意

サンプルプログラムを動作させる環境を構築する場合、OFSC ドライバーインストール時に登録デバイスと WebService のペアリング設定は設定済みのため、この設定をしないでください。

SetupPOS で登録した論理デバイス名をペアリング設定することで、OFSC ドライバーが動作します。

SetupPOS で登録した論理デバイス名と違う名称を登録すると、デバイスは動作しません。

論理デバイス名は重複させないでください。重複した場合正常に動作しません。

XMLPOSBridge WebService の編集

[XMLPOSBridgeWebService.xml] を編集します。

[XMLPOSBridgeWebService.xml] ファイルのディレクトリは以下のとおりです。

C:\¥inetpub¥wwwroot¥XMLPOS

SetupPOS.exe で登録した論理デバイス名に合わせて、[XMLPOSBridgeWebService.xml] を編集します。

論理デバイス名は [24 ページ「デバイスの登録」](#) を参照してください。

編集例

SetupPOS.exe でデバイスを3台登録した場合

登録した論理デバイス名：

デバイス1台目を [UserPrinterA](#)

デバイス2台目を [UserPrinterB](#)

デバイス3台目を [UserPrinterC](#)

[XMLPOSBridgeWebService.xml] の青字部分を登録した論理デバイス名に合わせて編集

編集前

```
<DeviceInfo name="POSPrinter">
  <Class>jp.co.epson.xmlpos.webservice.XMLPOSWebService</Class>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="POSPrinter2">
  <Class>jp.co.epson.xmlpos.webservice.XMLPOSWebService1</Class>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="POSPrinter3">
  <Class>jp.co.epson.xmlpos.webservice.XMLPOSWebService2</Class>
</DeviceInfo>
```

編集後

```
<DeviceInfo name="UserPrinterA">
  <Class>jp.co.epson.xmlpos.webservice.XMLPOSWebService</Class>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="UserPrinterB">
  <Class>jp.co.epson.xmlpos.webservice.XMLPOSWebService1</Class>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="UserPrinterC">
  <Class>jp.co.epson.xmlpos.webservice.XMLPOSWebService2</Class>
</DeviceInfo>
```

OFSCStack WebService の編集

[OFSCStack.xml] を編集します。

[OFSCStack.xml] ファイルのディレクトリーは以下のとおりです。

C:\inetpub\wwwroot\OFSCStack

SetupPOS.exe で登録した論理デバイス名に合わせて、[OFSCStack.xml] を編集します。

論理デバイス名は [24 ページ「デバイスの登録」](#) を参照してください。

編集例

SetupPOS.exe でデバイスを3台登録した場合

登録した論理デバイス名：

デバイス1台目を [UserPrinterA](#)

デバイス2台目を [UserPrinterB](#)

デバイス3台目を [UserPrinterC](#)

[OFSCStack.xml] の [青字](#)部分を登録した論理デバイス名に合わせて編集

編集前

```
<DeviceInfo name="POSPrinter">
  <Class>jp.co.epson.ofsc.xmlposio.OFSCDeviceOutputXMLPOS</Class>
  <Port>http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService.asmx</Port>
  <Interval>1000</Interval>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="POSPrinter2">
  <Class>jp.co.epson.ofsc.xmlposio.OFSCDeviceOutputXMLPOS</Class>
  <Port>http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService1.asmx</Port>
  <Interval>1000</Interval>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="POSPrinter3">
  <Class>jp.co.epson.ofsc.xmlposio.OFSCDeviceOutputXMLPOS</Class>
  <Port>http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService2.asmx</Port>
  <Interval>1000</Interval>
</DeviceInfo>
```

編集後

```
<DeviceInfo name="UserPrinterA">
  <Class>jp.co.epson.ofsc.xmlposio.OFSCDeviceOutputXMLPOS</Class>
  <Port>http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService.asmx</Port>
  <Interval>1000</Interval>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="UserPrinterB">
  <Class>jp.co.epson.ofsc.xmlposio.OFSCDeviceOutputXMLPOS</Class>
  <Port>http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService1.asmx</Port>
  <Interval>1000</Interval>
</DeviceInfo>
<DeviceInfo name="UserPrinterC">
  <Class>jp.co.epson.ofsc.xmlposio.OFSCDeviceOutputXMLPOS</Class>
  <Port>http://localhost/XMLPOS/XMLPOSWebService2.asmx</Port>
  <Interval>1000</Interval>
</DeviceInfo>
```

これで OFSC ドライバーから、UserPrinterA/ UserPrinterB/ UserPrinterC を使えるようになります。

デバイス登録リスト

論理デバイス名の初期値、およびサンプルプログラムで使用する論理デバイス名は、以下のとおりです。

27 ページ「登録デバイスと WebService のペアリング設定」では、青字の3つのデバイスを登録しました。

デバイスカテゴリー	論理デバイス名 (初期値)	利用目的	想定デバイス			
			TM-T90KP	TM-T88V	TM-T70	各種ドロアー
POSPrinter	POSPrinter		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter2		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter3		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter4		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter5		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter6		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter7		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter8		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter9		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter10		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter11		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter12		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter13		○	○	○	
POSPrinter	POSPrinter14		○	○	○	
POSPrinter	KitchenPrinter	キッチン用プリンター (サンプルプログラムで使用)	○			
POSPrinter	FloorPrinter	フロアー用プリンター (サンプルプログラムで使用)	○			
POSPrinter	ReceiptPrinter	レシート用プリンター (サンプルプログラムで使用)		○	○	
CashDrawer	CashDrawer	キャッシュドロアー (サンプルプログラムで使用)				○
CashDrawer	CashDrawer2					○
CashDrawer	CashDrawer3					○



アンインストール

本章では、OFSC ドライバーと UPOS ドライバーのアンインストールについて説明しています。

参考

本書では Windows XP の画面で説明をしています。他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。

OFSC ドライバーのアンインストール

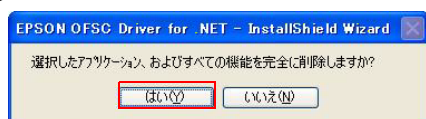
以下の手順で OFSC ドライバーをアンインストールします。

注意

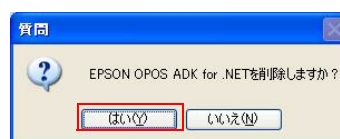
OFSC ドライバーをアンインストールする前に、コンピューターで行っている他のすべての作業を終了させてください。

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 2 [EPSON OFSC Driver] を選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- 3 ファイル削除を確認する画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。
- 4 UPOS ドライバーをアンインストールするか選択します。
アンインストールの確認画面は、UPOS ドライバーがインストールされていないと表示されません。
- 5 OFSC ドライバーおよび UPOS ドライバーがアンインストールされます。
- 6 「アンインストール完了」画面が表示されます。
[完了] ボタンを押すと、アンインストールが終了します。

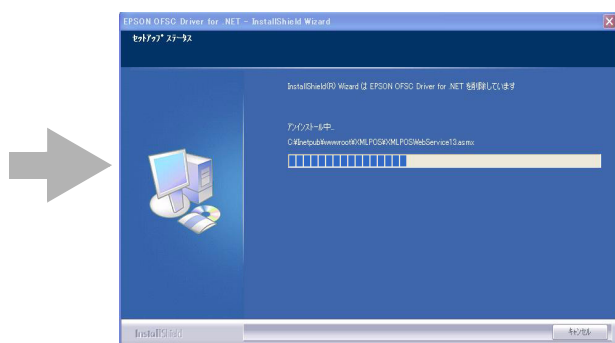
3 >



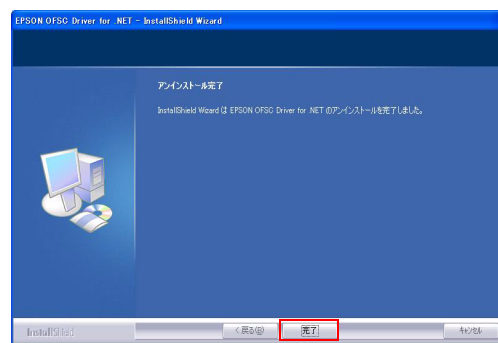
4 >



5 >



6 >



以上で、OFSC ドライバーおよび UPOS ドライバーのアンインストールは完了です。

UPOS ドライバーのアンインストール

以下の手順で UPOS ドライバーをアンインストールします。

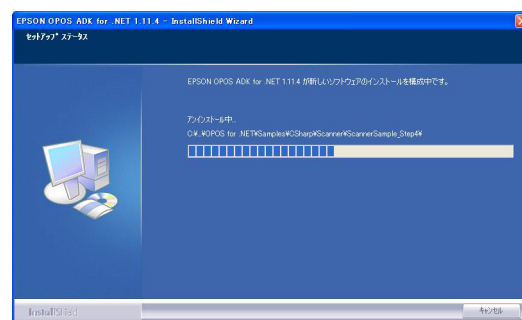
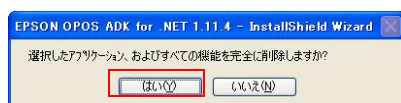
注意

OFSC ドライバーをアンインストールする前に、コンピュータで行っている他のすべての作業を終了させてください。

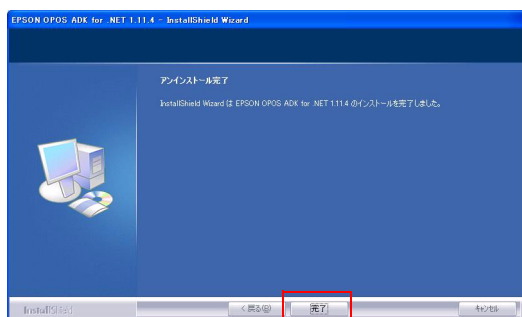
- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 2 [Epson OPOS ADK for .NET] を選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- 3 ファイル削除を確認する画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。
- 4 UPOS ドライバーがアンインストールされます。
- 5 「アンインストール完了」画面が表示されます。
[完了] ボタンを押すと、アンインストールが終了します。

4 >

3 >



5 >



以上で、UPOS ドライバーのアンインストールは完了です。

サイレント インストール

本章では、サイレントインストールの方法について説明しています。

サイレント インストールとは？

サイレントインストールとは、OFSC ドライバーとUPOS ドライバーを画面表示せずにインストールする機能です。他のコンピューターに環境をコピーする際に使用します。

注意

事前の環境の構築や、OFSC ドライバーインストール後の設定ファイルのコピーは自動的に行われないので、ご注意ください。

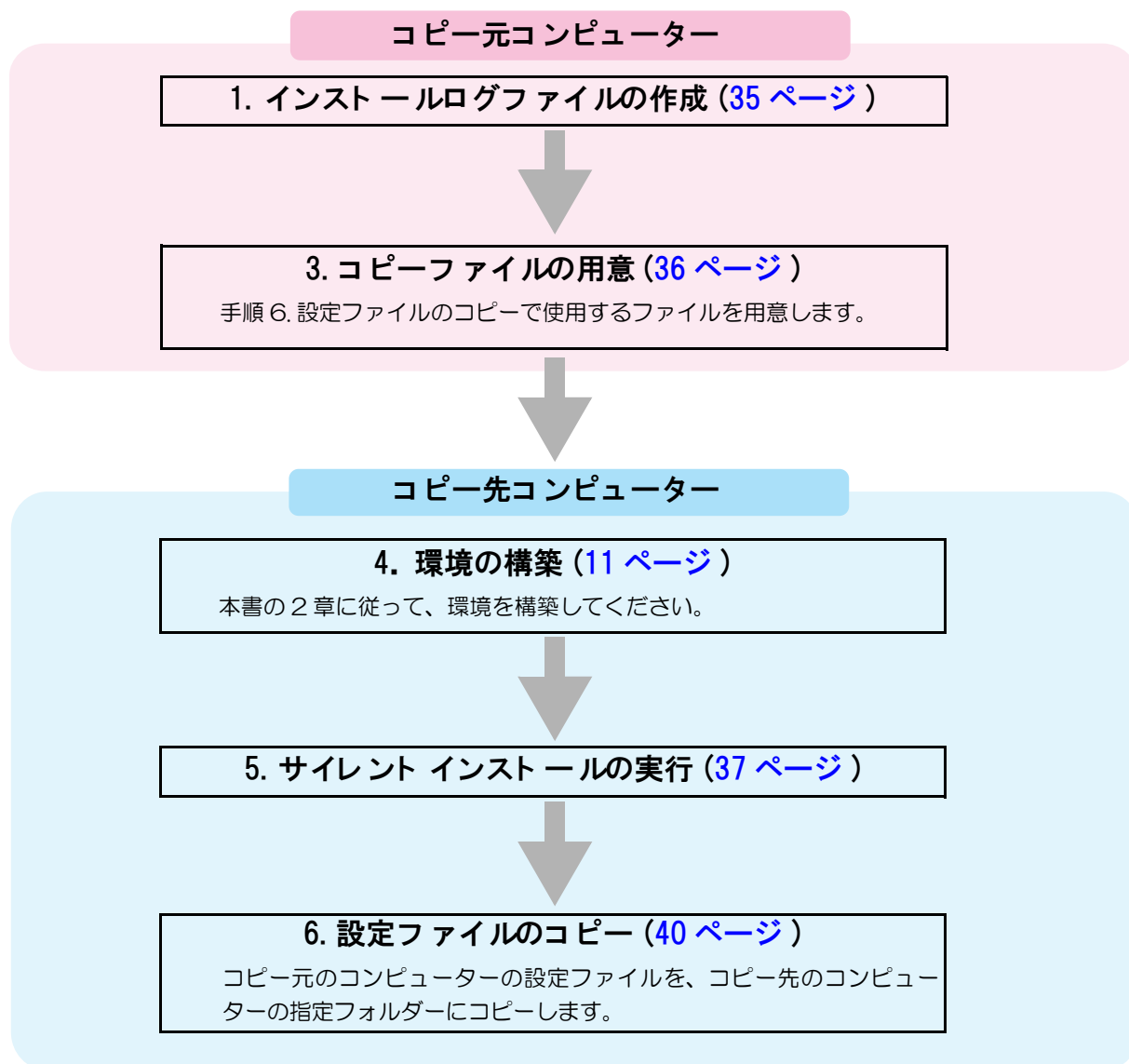
この機能は、インストールログファイル (Setup.iss) と OFSC ドライバーファイルを別のコンピューターにコピーしてコマンドから実行すると、コピー元のコンピューターのドライバー環境をコピーできます。

サイレントインストールの実行結果は、インストール終了時に作成されるログファイルから確認できます。

(38 ページ「サイレントインストールの実行結果の確認」を参照)

サイレント インストールの流れ

サイレントインストールは、以下の手順で作業します。



コピー元コンピューターの作業

コピー元コンピューターでは、以下の作業を行います。

- インストールログファイル (Setup.iss) の作成 (35 ページ)
- コピーファイルの用意 (36 ページ)

インストールログファイル (Setup.iss) の作成

インストールログファイルを作成するには、OFSC ドライバーの Setup.exe にコマンドを付加して、インストールする必要があります。作成方法には 2 つの方法があります。

注意

Setup.iss ファイルの作成は、OFSC ドライバーがインストールされていない環境で作成してください。

- WINDOWS フォルダーに作成 (35 ページ「WINDOWS フォルダーに作成 : /r」を参照)
- 保存場所と、ファイル名を指定して作成 (36 ページ「保存場所と、ファイル名を指定して作成 : /r /f1」を参照)

WINDOWS フォルダーに作成 : /r

“C:¥WINDOWS” にインストールログファイル (setup.iss) を作成します。以下の手順で作成します。

- 1 以下のコマンドを「コマンドプロンプト」などで実行してください。

>[EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe (フルパスで記述)] [/r]

入力例 : C:¥OFSC¥EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe /r

- 2 「InstallShield Wizard」画面が表示されます。
通常と同様にインストールします。(21 ページ「インストール」を参照)
- 3 インストールが終了すると、インストールログファイル (setup.iss) が作成されます。
インストールログファイルの出力先は、“C:¥WINDOWS” です。

保存場所と、ファイル名を指定して作成：/r /f1

作成するインストールログファイルに、保存場所とファイル名を指定できます。以下の手順で作成します。

1 以下のコマンドを「コマンドプロンプト」などで実行してください。

>[EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe (フルパスで記述)] [/r /f1][指定の保存場所とファイル名
(フルパスで記述)]

入力例：C:\OFSC\EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe /r /f1"C:\OFSC\OFSC_setup.iss"

2 「InstallShield Wizard」画面が表示されます。 通常と同様にインストールします。(21 ページ「インストール」を参照)

3 インストールが終了すると、指定した保存場所とファイル名でインストールログファイル が作成されます。

コピーファイルの用意

以下の設定ファイルのコピーを用意します。

ファイル名	場所
Configuration.xml	OS によって異なります *
OFSCStackWebService.xml	< Web サービスインストールフォルダー >/OFSC
OFSCStack.xml	
XMLPOSBridgeWebService.xml	< Web サービスインストールフォルダー >/XMLPOS

* Windows XP/Embedded POSReady 2009

< システムドライブ >\Documents and Settings\All Users\Application Data\Microsoft\Point Of Service\Configuration

Windows 7/ Vista/ Embedded POSReady7/ Server 2008

< システムドライブ >\ProgramData\Microsoft\Point Of Service\Configuration

コピー先コンピューターの作業

コピー先コンピューターでは、以下の作業を行います。

- 環境構築 (11 ページ)
- サイレントインストールの実行 (37 ページ)
- 設定ファイルのコピー (40 ページ)

注意

事前の環境の構築や、OFSC ドライバーインストール後の設定ファイルのコピーは自動的に行われないので、ご注意ください。

サイレント インストールの実行

以下の方法で OFSC ドライバーおよび UPOS ドライバーのサイレントインストールをします。

注意

コピー先のコンピューターに、以下の環境が構築されていることを確認してください。
環境の構築方法は、11 ページ「環境の構築 - .NET」を参照してください。

- .NET Framework のインストール
- IIS (Microsoft Internet Information Services) のインストール
- POS for .NET 1.11 のインストール

- 1 OFSC ドライバー (EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe) とコピーインストールログファイル (Setup.iss) をコピー先コンピューターの同じフォルダーに移動します。
- 2 以下のコマンドを実行します。サイレントインストールが開始されます。

>[OFSC ドライバーのディレクトリー ¥EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe (フルパスで記述)]
[/s /f1][コピーインストールログファイル名 (フルパスで記述)]

入力例 : C:\¥OFSC¥EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe /s /f1"C:\¥EPSON¥usr¥Setup.iss"

以上で、OFSC ドライバーおよび UPOS ドライバーのサイレントインストールは終了です。

参考

インストール結果のログファイル (Setup.log) の出力先とファイル名を指定してインストールする場合、以下のコマンドを実行します。

OFSC ドライバーのディレクトリー ¥EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe
/s /f1"コピーインストールログファイル名 (フルパスで記述)"
/f2"ログファイルの出力先とファイル名 (フルパスで記述)"
入力例 : C:\¥OFSC¥EPSON_OFSC_Driver_NET_Vx.xx.exe /s /f1"C:\¥Epson¥usr¥Setup.iss"
/f2"C:\¥Epson¥usr¥OFSC_Setup.log"

サイレント インストールの実行結果の確認

サイレントインストールの実行結果は2つの方法で確認できます。

- OFSCInstallMessage.log で実行結果の確認 (38 ページ)
- Setup.log で実行結果の確認 (39 ページ)

OFSCInstallMessage.log で実行結果の確認

ログファイル (OFSCInstallMessage.log) から、サイレントインストールの実行結果を確認できます。



ログファイル (OFSCInstallMessage.log) は、以下の場所に保存されます。
C:\Program Files\Epson\OPOS for .NET

■ サイレントインストール成功時の内容の例

サイレントインストールが成功した場合、以下のメッセージが表示されます。

(SilenceMode Log Start)

2-3-2009 18:23:49 <INFORMATION>

サイレントインストールは正常に終了しました。

(SilenceMode Log End)

■ サイレントインストール失敗時の内容の例

サイレントインストールが失敗した場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ内容を確認のうえ、対応してください。

(SilenceMode Log Start)

2-3-2009 18:23:49 <ERROR>

現在選択している機能をインストールするための空き容量が足りないドライブがあります。空き容量の足りないドライブからファイルを削除する、より少ない機能をローカルドライブにインストールする、または異なるインストール先を選択してください。

(SilenceMode Log End)

Setup.log で実行結果の確認

ログファイル (Setup.log) にある “ResultCode” に整数値が表示され、その整数値からサイレントインストールの実行結果を確認できます。

参考

ログファイル(Setup.log) は、以下の場所に保存されます。

- “/s /f1” コマンドで実行した場合：インストールログファイル(Setup.log)と同じフォルダー
- “/s /f1 /f2” コマンドで実行した場合：指定フォルダー先の指定ファイル名

■ ログファイルの内容の例

```
(InstallShield Silent)
Version=v7.00
File=Log File
(ResponseResult)
ResultCode=0
(Application)
Name=EPSON OFSC Driver for .NET
Version=1.00.0000
Company=SEIKO EPSON CORPORATION
Lang=0011
```

■ “ResultCode” の結果リスト

コード (整数値)	結果内容	コード (整数値)	結果内容
0	成功	-8	応答ファイルのパスが間違っています
-1	一般エラー	-9	有効なリストタイプではありません
-2	モードが間違っています	-10	データタイプが無効です
-3	指定されたデータが応答ファイルに見つかりません	-11	セットアップ中に不明のエラーが発生しました
-4	実行に十分なメモリがありません	-12	ダイアログボックスに不具合があります
-5	ファイルが存在しません	-51	指定したフォルダーを作成することができません
-6	応答ファイルに書き込むことができません	-52	指定したファイルまたはフォルダーにアクセスできません
-7	ログファイルに書き込むことができません	-53	選択したオプションは無効です

設定ファイルのコピー

コピー元のコンピューターからコピー先のコンピューターに、必要なファイルをコピーします。
以下の手順に従ってコピーしてください。

参考

コピー先のコンピューターに OFSC ドライバーが正しくインストールされていないと、
本項で説明するフォルダーは作成されません。

- 1 コピー元のコンピューターからコピー先のコンピューターに以下のファイルをコピー（上書きコピー）します。

ファイル名	場所
Configuration.xml	OSによって異なります *
OFSCStackWebService.xml	< Web サービスインストールフォルダー >/OFSC
OFSCStack.xml	
XMLPOSBridgeWebService.xml	< Web サービスインストールフォルダー >/XMLPOS

* Windows XP/Embedded POSReady 2009

＜システムドライブ＞\%Documents and Settings%\All Users%\Application Data%\Microsoft%\Point Of Service%\Configuration

Windows 7/ Vista/ Embedded POSReady7/ Server 2008

＜システムドライブ＞\%ProgramData%\Microsoft%\Point Of Service%\Configuration

- 2 コピー先のコンピューターの SetupPOS を起動して、コピー元のコンピューターの設定が反映されていることを確認します。
[スタート]メニューから[すべてのプログラム] - [EPSON OPOS for .NET] - [SetupPOS] を選択します。
- 3 [CheckHealth テスト] からデバイスが正しく接続されているか確認します。
[CheckHealth テスト] については、[26 ページ「デバイスの動作確認」](#)を参照してください。

以上で、サイレントインストール作業が完了しました。